

事業所名

みつばち桜町

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

2月

20 日

法人（事業所）理念		保護者のサポート地域ナンバーワンを目指しています。					
支援方針		【できた！】を増やし自己肯定感をあげ様々な活動に挑戦できるようにしています。また、身体能力向上の為の訓練、身辺面の自立を目指します。					
営業時間		10 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善＝引き渡し時の健康状態チェック、来所後の手洗いうがい、活動中の水分補給促し。 基本的な生活スキルの獲得＝SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練など					
	運動・感覚	粗大運動の導入＝トランポリン、バランスボール、ボルダリング、サーキット遊び、お散歩、公園での活動など 微細運動の導入＝ハサミやノリ、ペン、絵の具などを使った簡単な工作活動など 感覚統合＝ボールプール、パラバルーンなどを用いた活動など					
	認知・行動	認知形成＝1日の活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知、ブロック遊びによる空間把握など 感性形成＝季節の変化への興味がわくような季節のイベントの企画、旬の食材を使ったお昼・おやつレクの実施					
	言語 コミュニケーション	本人に合わせた言語・コミュニケーションスキルの獲得＝文字や、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用。昼食やおやつのおしゃべり、帰りの挨拶、帰りの会の参加(集団活動)など					
	人間関係 社会性	お友達との関係や集団参加、社会性の向上＝帰りの会や遊びを通しての支援。必要に応じて個別での支援を実施。					
家族支援		発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行います。図々の様子や目標に対しての姿などを送迎時や面談の機会を通じてお伝えし、共有していきます。 困り事に対して、特性を踏まえた対応方法を提案していきます。				移行支援	学校と支援内容についての情報共有や支援内容のすり合わせを行います。 特性を踏まえた一貫した支援を行う為、送迎時や面談時に情報共有を行い連携を図っていきます。学習面や現在のレベルに合わせた提案を行います。 つ、学校の送迎時には様子を聞き、すり合わせを行います。
地域支援・地域連携		相談支援事業所と連携を図ります。相談支援専門員と定期的に連携を取り合い、デイサービスでの様子や取り組みなどを伝えます。必要に応じて担当者会議を開き、情報共有を行います。				職員の質の向上	研修などスキルアップの機会を提供し、目標達成に向けてのサポートや的確なフィードバックを行います。また、日々のコミュニケーションを促進します。
主な行事等		季節のイベント(お花見、七夕、夏祭り、水遊び、お月見、ハロウィン、大道芸、クリスマス会、初詣、豆まき、バレンタインデー、ホワイトデーなど) お昼レク、おやつレク、公園、お祭り見学、工場見学、バス・電車レクなど					